

市長と語ろう!

平成27年度

笠間タウントーキング 開催報告

市民の皆さんと行政がお互いに情報を交換し合い、交流を図る場として地方創生をテーマに「市長と語ろう! 笠間タウントーキング」を5月から11月にかけて実施しました。各地区のほか、20歳代の意見を求めるため、大学生などを対象にした「U活プロジェクト」や、市内企業等を市長と見学しながら、笠間の良さや地域資源を再発見する懇談会を開催しました。

懇談内容の詳細については、ホームページ「市政懇談会(平成27年度)」をご覧ください。

テーマ	サブタイトル	開催日	場所	参加者数
地方創生	地方創生懇談会	5月30日	笠間市役所 本所	18人
		5月31日	笠間市役所 笠間支所	22人
		6月19日	市民センターいわま	22人
		6月24日	笠間市役所 本所	36人
		6月29日	笠間市役所 本所(女性対象)	34人
	U活プロジェクト	8月 6日	茨城マルシェ(銀座)(首都圏学生)	29人
		10月12日	あたご天狗の森スカイロッジ(県内学生)	12人
	地域資源再発見	11月 7日	笠間クラインガルテン	9人
		11月21日	株式会社イチカワ岩間工場	25人
11月29日		須藤本家株式会社	30人	

郷土愛の醸成について

Q 高校を卒業しても市内に住み続ける意識を持たせるには、中学生の時に人口減少の現状を知らせる必要があり、「笠間」を考えさせるような教育をしていくべきだと思う。

A 子どもの頃から郷土愛を育てるべきという意見は多いです。郷土愛の教育は行っていますが、県外の大学に進学しても、Uターン就職ができるよう雇用の場の確保とあわせて行っていきたいと思っています。

農業の強化について

Q 農業は、若い人が参入しなければ先はないように感じる。農業を強化しなければ人口も減ってしまうのではないかと。

A 市では、ここ5年間で50人から60人程度の新規就農者がいます。これからの農業は、農地集積など各農家の規模拡大を図って、専業農家や新規就農者をしっかり支援して農業を強化していくことが大切だと思います。

子育て環境について

Q 子育て環境の整備により女性が働きやすくなるので、保育所等の整備が必要ではないか。

A 市の待機児童は最大で約30名です。これを解消するために、笠間地区に認定子ども園を整備するとともに、各保育所等の定員拡大を図っていきます。さらに県内で初めてとなる、子育て世代包括支援センター「みらい」を設置し、妊娠、出産、子育ての相談を包括的に実施し、子育て世代を応援しています。

雇用(転職支援)について

Q 就職や転職を希望する人などに対し、求人情報などを発信することはできないか。

A 雇用の場を確保するため企業誘致にも取り組んでいますが、市内には、高い技術力や特殊な専門性を持った、賃金も高水準の企業があるので、求人情報を発信できるよう事業者の理解を得ながら、進めていきたいと思っています。

友部駅前の活性化について

Q 友部駅の付近には、お茶や食事など時間をつぶせる場所が少ない。また、友部駅の通路を使って市の魅力をPRできないか。

A 友部駅南口に建設を進めている友部地区の地域交流センターには、カフェを入れる予定です。また、駅の自由通路は市が管理しているので、ガラス壁を活かして、笠間の名所をPRできるか考えてみます。



女性対象懇談会

